

令和 7 年度

教育委員会の事務に関する点検及び評価報告書
(令和 6 年度対象)

令和 7 年 8 月

杉戸町教育委員会

目 次

I 経 緯	1
II 教育委員会活動状況	2
III 点検・評価の対象とした施策・事業	6
IV 点検評価の結果	7
確かな学力と自立する力の育成	7
豊かな心と健やかな体の育成	11
家庭・地域と一体となった教育の推進	13
小・中学校の施設・設備の充実	15
学校図書館の充実	18
自ら学べる環境の充実(生涯学習センター・図書館)	20
自ら学べる環境の充実(公民館)	22
多様なスポーツ活動の普及促進	25
青少年の健全育成	28
まちの歴史・文化の保存と活用	29

【経 緯】

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条により、全ての教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表しなければならないこととされました。

そこで、杉戸町教育委員会では、同法の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに令和6年度の「事務事業評価」を実施し報告書にまとめました。

【点検・評価の対象年度】

令和6年度

【点検評価の項目】

町政運営の基本となる「第6次杉戸町総合振興計画基本構想・前期基本計画（令和3年度～7年度）」及び「令和6年度教育行政重点施策」に掲げられている施策・事業を対象に点検評価を実施しました。

【点検・評価の方法】

各事業について自己評価を行い、学識経験を有する方から評価・意見をいただきました。

堀井 仁（玉川大学客員教授（元杉戸町立西小学校長））

《教育委員会活動状況》

1 組織体制

教育委員等	教育長 1 人、教育長職務代理者 1 人、委員 2 人
事務局組織	教育次長、教育総務課、学校教育課、社会教育課、 小学校、中学校、幼稚園 学校給食センター、町立図書館、生涯学習センター、公民館、 教育相談所、エコ・スポいずみ（正規職員 51 人）

2 教育委員の活動概要

毎月 1 回の定例会や臨時会を開催しました。

定例・臨時・協議会		議案件数	報告件数	協議件数	その他
定例会	12 回	27 件	50 件	0 件	13 件
臨時会	2 回				

教育委員会審議案件（R6 年 4 月～R7 年 3 月）

会議	審議 年月日	議案 番号	件名
第 5 回	R6. 4. 11	12	杉戸町立公民館に関する条例の一部を改正する条例
第 6 回	R6. 5. 23	13	【非公開】杉戸町教育委員会委員の辞職の同意について《取扱注意》
第 7 回	R6. 6. 20	14	杉戸町立東中学校の閉校に伴う跡地の活用について
第 8 回	R6. 7. 18	15	令和 7 年度使用中学校用教科用図書の採択について《一部取扱注意》
		16	杉戸町生涯学習審議会委員の委嘱について
		17	令和 7 年度町立幼稚園園児募集要領について
第 9 回 臨時会	R6. 7. 31	18	令和 7 年度使用中学校用教科用図書の採択について
第 10 回	R6. 8. 22	—	—
第 11 回	R6. 9. 18	—	—
第 12 回	R6. 10. 24	19	杉戸町立図書館条例施行規則の一部を改正する規則について
第 13 回	R6. 11. 21	20	令和 6 年度杉戸町入学準備金貸付審査会委員の委嘱について
		21	カルスタすぎとの運営方法に関する協議内容について
第 14 回	R6. 12. 19	22	杉戸町立杉戸南中学校スクールバスの運行及び利用に関する要綱の制定について
第 1 回	R7. 1. 28	1	杉戸町立小中学校通学区域に関する規則の一部を改正する規則について
		2	杉戸町教育委員会公印規程の一部を改正する訓令について
		3	杉戸町立小・中学校情報機器運用指針の改訂について
		4	杉戸町立小・中学校職員服務規程の一部を改正する規則について

		5	杉戸町立小・中学校の旅費事務に関する相互確認実施要綱の一部を改正する告示について
		6	杉戸町立図書館協議会委員の委嘱について
第 2 回	R7. 2. 20	7	令和 7 年度杉戸町教育行政重点施策について
		8	令和 7 年度当初予算見積書最終査定結果について
第 3 回 臨時会	R7. 2. 25	9	【非公開】令和 7 年度当初杉戸町立各小・中学校管理職人事異動に係る内申について
		10	【非公開】令和 7 年度当初杉戸町立各小・中学校教職員人事異動に係る内申について
第 4 回	R7. 3. 18	11	杉戸町立学校給食センター管理規則の一部を改正する規則について
		12	杉戸町学校給食費補助金交付要綱を廃止する告示について
		13	私立等小・中学校における第 3 子以降給食費補助金交付要綱について
		14	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う教育委員会関係規則の整理に関する規則について
		15	令和 7 年度杉戸町さわやか相談員の委嘱について
		16	【非公開】杉戸町教育委員会事務局職員の人事異動について

教育委員会報告案件

議案番号は暦年のため重複表示となります

会議	年月日	報告 番号	件 名
第 5 回	R6. 4. 11	18	令和 6 年度教育委員会事務局及び教育機関組織について
		19	令和 6 年度杉戸町立幼稚園・小・中学校 幼児・児童生徒数及び学級数、教職員数について
		20	令和 6 年度杉戸町立小・中学校における主幹教諭設置校について
		21	令和 6 年度杉戸町立小・中学校司書教諭の任命について
第 6 回	R6. 5. 23	22	杉戸町立東中学校の閉校に伴う跡地の活用について
		23	令和 6 年度杉戸町小・中学校 児童・生徒数及び学級数、教職員数について
		24	令和 6 年度杉戸町小・中学校指導員の委嘱について
		25	令和 6 年度杉戸町教育委員会学校教育課所管各種委員会委員について
		26	令和 6 年度杉戸町語学及び文化アドバイザー（SLCA）について
		27	令和 6 年度杉戸町立小・中学校図書館支援員の委嘱について
		28	杉戸町幼稚園教諭等昇任試験実施規程の改正について
		29	令和 6 年度杉戸町立幼稚園幼児数及び学級数、教職員数について
第 7 回	R6. 6. 20	30	令和 6 年 6 月議会一般質問について
		31	令和 6 年度一般会計補正予算（第 3 号）について

		32	令和6年度杉戸町立小・中学校学校運営協議会委員名簿について
		33	【非公開】令和7年度埼玉県公立小・中学校校長・教頭候補者選考志願者について《取扱注意》
		34	杉戸町こども計画に関するニーズ調査結果報告書について
第8回	R6. 7. 18	35	令和6年度杉戸町要保護及び準要保護児童・生徒の認定について
		36	令和6年度杉戸町県展入選等作品展の開催について
第9回 臨時会	R6. 7. 31	—	—
第10回	R6. 8. 22	37	令和7年度使用中学校用教科用図書の採択結果について
		38	次期生涯学習推進計画策定に係る住民意識調査の実施について
		39	カルスタすぎとの運営方法の検討に係る答申内容について
第11回	R6. 9. 18	40	令和6年9月議会一般質問について
		41	令和6年度一般会計補正予算（第5号）について
		42	令和7年度当初教職員人事異動の方針について
		43	カルスタすぎとの運営方法について
第12回	R6. 10. 24	44	令和6年度全国学力・学習状況調査結果について《取扱注意》
		45	令和6年度埼玉県学力・学習状況調査結果について《取扱注意》
		46	令和6年度杉戸町リーディングスキルテスト結果について《取扱注意》
		47	令和6年度杉戸町県展入選等作品展及び特別企画「第10回日展入選作品展」の事業報告について
		48	第41回杉戸町文化祭の開催について
第13回	R6. 11. 21	49	杉戸町こども計画（素案）に対するパブリックコメントの実施について
第14回	R6. 12. 19	50	令和6年12月議会一般質問について
		51	令和6年度一般会計補正予算（第7号）について
		52	令和7年度町立幼稚園新入園児状況及び学級編成について
		53	【非公開】令和7年度埼玉県公立小・中学校等校長・教頭候補者選考の結果について《取扱注意》
第1回	R7. 1. 28	1	令和6年度一般会計補正予算（第8号）について
		2	令和6年度杉戸町立小・中学校卒業証書授与式の告辞について
		3	令和7年度杉戸町立小・中学校入学式の告辞について
		4	令和7年杉戸町二十歳の集い出席状況
		5	令和6年度町立幼稚園修了証書授与式の告辞について
		6	令和7年度町立幼稚園入園式の告辞について
第2回	R7. 2. 20	7	令和6・7年度学校医等の委嘱について
		8	公民館活動サークル見学月間の開催について
		9	令和6年度町立幼稚園満3歳児保育入園状況について
第3回 臨時会	R7. 2. 25	—	—

第4回	R7.3.18	10	令和6年3月議会一般質問について
		11	令和5年度一般会計補正予算（第9号）について
		12	杉戸町教育情報セキュリティポリシーの改定について
		13	令和6年度杉戸町立小・中学校教職員人事評価の結果について
		14	令和7年度杉戸町立小・中学校新採用及び転入教職員着任式について

教育委員会協議案件

会議	年月日	件名
—	—	—

教育委員会その他案件

会議	年月日	件名
第5回	R6.4.11	杉戸町今昔往来伝の刊行について
第7回	R6.6.20	令和7年杉戸町二十歳の集いの開催について
第8回	R6.7.18	令和6年度教育委員会の事務に関する点検及び評価報告書（令和5年度対象）について（素案）
第11回	R6.9.18	杉戸町立東中学校の閉校後の活用に向けた庁内アンケート結果について
		杉戸町スポーツフェスティバル 2024 について
第12回	R6.10.24	町長の学校訪問について
第13回	R6.11.21	「令和7年杉戸町二十歳の集い」への出席について
		「第41回杉戸町新春マラソン大会」開催について
		請願の処理の経過及び結果報告について
第14回	R6.12.19	令和7年度埼玉県文化財功労者及び優良文化財保護団体への推薦について（茨島囃子保存会、大塚同志会）
		「第41回杉戸町新春マラソン大会」開催について
		令和6年度町立幼稚園卒園式について
第1回	R7.1.28	令和7年度杉戸町立小・中学校、幼稚園の入学（園）式の日程について

教育委員の主な関係行事等への出席

期日	主な行事等
4月1日	着任式
4月8日	小・中学校入学式
4月10日	幼稚園入園式
1月12日	二十歳の集い
3月14日	中学校卒業式
3月19日	幼稚園卒園式
3月21日	小学校卒業式

点検・評価の対象とした施策・事業

- ① 確かな学力と自立する力の育成（学校教育課）
「学力向上プロジェクト・特色ある学校づくり
プロジェクト」
- ② 豊かな心と健やかな体の育成（学校教育課）
- ③ 家庭・地域と一体となった教育の推進（子育て支援課）
「世代間交流の実施」
- ④ 小・中学校の施設・整備の充実（教育総務課）
- ⑤ 学校図書館の充実（教育総務課・学校教育課）
- ⑥ 自ら学べる環境の充実（社会教育課）
「生涯学習事業の推進（生涯学習センター・図書館）」
- ⑦ 自ら学べる環境の充実（社会教育課）
「生涯学習事業の推進（公民館）」
- ⑧ 多様なスポーツ活動の普及促進（社会教育課）
- ⑨ 青少年の健全育成（社会教育課）
- ⑩ まちの歴史・文化の保存と活用（社会教育課）

点検評価の結果

施策：①確かな学力と自立する力の育成

「学力向上プロジェクト・特色ある学校づくりプロジェクト」

各学校が日々の授業の充実と特色ある教育活動（学力向上プロジェクトと特色ある学校づくりプロジェクトを核とする）を展開する中で、子どもたち一人一人の学びを充実させ、未来を生き抜く力を育みます。

令和6年度の主な取組

（１）学力向上プロジェクト

○各校での５つの共通実践

- ・学級づくり、教室づくり
- ・基礎力・学習スキルの育成
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
（杉戸町授業スタンダードの活用）

・家庭学習の推進

・非認知能力（好奇心、自制心、意欲、自尊心等）の育成

○若手教員の授業力向上に向けた「学習指導アドバイザー」の配置

○児童生徒の実態把握及び、日々の授業改善へ向けた各種学力テスト等の実施

- ・読解力向上ワークシート（小学校５・６年生対象）の実施
- ・総合学力調査（小学校１年生から中学校２年生まで）の実施

○学力向上プロジェクト推進委員会

- ・各小・中学校の学力向上推進者による学び合い（年３回）

○学力向上プロジェクト訪問（西ブロック４校）

- ・全教員の授業公開
- ・授業構想力・授業実践力の向上

○学力向上プロジェクト公開授業研究会（東ブロック５校）

- ・町内全教員による研究協議会
- ・子供の学びを見取る力と研究協議を深める力の向上

（２）特色ある学校づくりプロジェクト

○特色ある教育活動推進のための学校支援

- ・カリキュラム・マネジメントによる創意工夫を生かした教育課程の編成・実施・評価
- ・「学校自慢」となる特色ある教育活動の推進

施策・事業の評価

確かな学力と自立する力の育成

「学力向上プロジェクト・特色ある学校づくりプロジェクト」

令和6年度杉戸町教育委員会の最重要課題として次の3点が示されている。

①学力（自立して学ぶ力）の向上

② 全ての児童・生徒が安心して自分を伸ばせる「誰一人取り残されない学校」づくり

③ 低下した児童・生徒の体力の向上及び健康維持増進

①においては、学力を「自立して学ぶ力」ととらえ、受動的な学びから能動的な学びへの転換、メタ認知の育成（第三者としての評価・振り返り）、「令和の日本型学校教育」（令和答申）に基づく授業改革、杉戸町学力向上プロジェクト（第二期2年目、通算7年目）と具体的な取組が行われている。学力向上プロジェクトのリーフレットもリニューアルされ、町内の教員が手元に置くことで羅針盤の役割を果たしている。

②では、不登校児童・生徒の減少、いじめを見逃さない、インクルーシブ教育の推進が示されている。特に規模の大きい杉戸小・杉戸中に、校内支援室（ほっとルーム、Aルーム）を設置した。これについての評価は、別に記述した。

③では、体育授業の中で体力向上を図る、健康的な生活・保健指導を取り上げた。

杉戸町では校長がリーダーシップを発揮し、教員の意識改革を行い、教員自身が自分事として「授業の質を変え」ようとしている。そのために学力（資質・能力）を伸ばすポイントは「学校の水準を引き上げること」と言い切っている。

町教育委員会と9校が一体となった「学力向上プロジェクト」の取組も7年目となった。授業や協議会等を通じた取組により、杉戸町の教員は高い専門性を発揮し、児童・生徒の多様なニーズに応えることができていることが分かる。今後の杉戸町の児童・生徒そして教員の成長を期待したい。

杉戸町学力向上プロジェクトについて(第1期) 2018年4月～2023年3月

1 実施に至る背景

◎2017年(平成29年3月) 小・中学校新学習指導要領告示

○加速度的に社会が変化する今、2030年の未来を見据え、予測不可能な社会に生きる子供たちに、
激動の時代を豊かに生き、未来を切り開く力を身に付けさせる。

○新しい学習指導要領に込められた願いは…

「学校で学んだことが、子供たちの「生きる力」となって、明日に、そしてその先の人生につながってほしい。
これからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見つけ、自ら学び、判断し行動し、
それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。……」

◎杉戸町の状況

児童・生徒

- ・基礎的な学力は、概ね身についているが、かなりの学力差もあり、全体として、国や県の学力調査において、県の平均を上回る状況には至っていない。
- ・思考力について、根拠をもって推論したり説明したりが十分とは言えない。
- ・学んでいても、その楽しさを実感したり、将来に生かせると思ったりしている児童・生徒が少ない。
- ・自己肯定感の低い児童・生徒がやや多い。

学校・教師

- ・学校により、学力の差や、研修推進の差が見られる。
- ・チョークとトークに頼り、説明型の授業が多く見られる。
- ・学習指導要領改訂の理解不足



2 学力向上プロジェクトの取組(詳しくは、「学力向上プロジェクトリーフレット」参照)

目的

- ・児童・生徒の学力(新学習指導要領に示された資質・能力)の向上
- ・教師の「授業構想力」「授業実践力」「子供の学びを見取る力」「研究協議を深める力」の向上
- ・学校間の取組の差を無くす

方策

- ・「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った日々の授業改善により質の高い学びを実現する「授業改革」を中心に、5つの共通実践で「未来の創り手となるために必要な資質・能力」を育む

※5つの共通実践

①学級づくり・教室づくり ②基礎力・学習スキルの育成 ③授業改革 ④家庭学習 ⑤非認知能力の育成

- ・校種・教科に関係なく、授業を通して「子供の学び」について考え、意見を交流し、明日の授業改善に生かす機会を設ける。(学力向上プロジェクト公開授業研究会)

- ・教育委員会が学校を訪問し、当該学校の教師と共に、授業を通して「子供の学び」について学び合う。(学力向上プロジェクト訪問)

3 効果の検証方法

- ・子供たちの学びの姿の変容 ・日々の授業の変容 ・校内研修の変容
- ・学力・学習状況調査(国・県)
- ・総合学力調査(ベネッセ)
- ・リーディングスキルテスト
- ・児童・生徒 ICT 活用状況調査 等

杉戸町学力向上プロジェクトについて(第2期) 2023年4月～

I 第1期実践(2018年4月～2023年3月)の振り返り

成果

- ・各種標準テストにおける正答率の向上
- ・学校間格差が縮まる(全ての学校が伸びている)
- ・「杉戸町授業スタンダード」をベースとして「主体的・対話的で深い学び」を実践しようとする教員が増えている
- ・校内研修の意識の転換が図られ、研究協議を通して、子供の姿から「子供の学びを見取る力」が向上している

課題

- ・各種標準テストにおいて全体として、正答率が伸びているが、児童・生徒一人一人には、まだ伸ばし切れていない面もある
- ・教師が教える授業から子供が学ぶ授業への転換について、本質(何のために、どのように)が理解されていないことも多く、日々の授業の大きな改革には至っていない
- ・授業過程が形式化し、質的な掘り下げについて課題が残されている
- ・校内研修に「町学力向上プロジェクト」の方向性が、組み込まれていない学校もある

2 令和の日本型学校教育(2021年1月 中央教育審議会答申)

◎5つのポイント…(内外教育「令和の日本型学校教育」 上智大学教授 奈須正裕 より)

- ①全ての子供たちに一定水準の、しかも広範囲にわたる全人的な教育を提供している。これについては、さらに発展的に継承していくことが望まれる。
- ②その一方で従来の「日本型学校教育」は、正解主義や同調圧力といった問題を抱えており、子供の学習者としての自立も阻んできた。既に経済社会は「みんなと同じことができる」「言われたことを言われたとおりにできる」人材など求めてはいない。
- ③「社会に開かれた教育課程」の理念に立って、今後の学校が目指すべき姿、つまり「令和の日本型学校教育」の実現に当たっては、まず、全ての子供を自立した学習者へと育て上げることが大切であり、子供がICTも活用しながら自ら学習を調整し、学び続けられるようにするには、個別最適な学びが不可欠である。
- ④協働的な学びの一層の充実も併せて望まれるが、その際、集団の中で個が埋没しないよう、異なる考えが組み合わさり、よりよい学びが生み出される学びとすることが大切である。
- ⑤「個別最適な学び」と「協働的な学び」を「主体的・対話的で深い学び」で実現されるよう、相補的で相互促進的な関係を保ちながら一体的に充実させていくことが「令和の日本型学校教育」の中心的な課題となる。

3 2023年度からの取組【2022年に資料をもとに浸透を図った「令和の日本型学校教育」の一層の推進】

◎「未来の創り手となるために必要な資質・能力」の再確認

◎授業改革のブラッシュアップ

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った日々の授業改善により質の高い学びを実現する。

一体的な充実:「1単位時間の中で」「単元計画の中で」「年間指導計画の中で」 一体的な充実を図る

◎自立した学習者を育てるための視点に立った「5つの共通実践」文言修正

◎授業改革のブラッシュアップに沿った指導案の改善

- ・単元について③授業改善のアプローチ(『個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実』の視点から)
- ・本時の学習活動③に期待される児童生徒の振り返りを追加

◎◇「教師が教え込む」授業から「子どもが主体的に学ぶ授業」への転換

◇「教師主導」の授業から「子ども主体の授業」への転換

教師は 授業デザイナーであり
授業コーディネーターであり
ファシリテーターである。
～知識の伝達者からの脱却～

点検評価の結果

施策：②豊かな心と健やかな体の育成

児童生徒一人一人の心に寄り添ったきめ細やかな学校教育の実施や、児童生徒が体を動かすことの楽しさや喜びを感じ、よりよい生活を送ることを目的とした、日々の体育授業の充実により、豊かな心と健やかな体の育成を目指します。

令和6年度の主な取組

○校内少人数支援室の新規設置

- ・不登校などの子供の困り感に寄り添い、きめ細やかな対応を行うため、校内少人数支援室を杉戸小学校、杉戸中学校へ設置しました。

○新体力テストの実施について

- ・新体力テストは、文部科学省が国民の体力・運動能力の現状を明らかにするとともに、体育・スポーツの指導と行政上の基礎資料を得ることを目的に、町内各小・中学校で毎年実施している調査です。

○児童生徒の体力の現状と課題の把握

- ・杉戸町体力向上・健康増進推進委員会の中で、各校の結果を基に杉戸町の児童生徒の体力の現状と課題を把握しました。全国、県の平均値と比較することで、分析を深めることができました。

○楽しい体育授業の実践について

- ・技能のみを追い求める授業ではなく、児童生徒が主体的に授業に参加するような体育授業の実践についても話し合いをすることができました。主体的に授業に参加することが体力向上につながるということを再確認しました。

○各校の実践（成果・課題）等の発表

- ・杉戸町体力向上・健康増進推進委員会を年2回行い、2回目（2月）の推進委員会で各校の実践発表を行い、次年度の課題を洗い出しました。

施策・事業の評価

②豊かな心と健やかな体の育成

令和6年度の杉戸町教育委員会の「重点目標」の一つが全ての児童・生徒が安心

して自分を伸ばせる「誰一人取り残されない学校」づくりである。ここには杉戸町立小学校・中学校は、だれもが「楽しく学び、自分を伸ばせる魅力ある学校」であってほしいという教育委員会からの願いが込められている。

杉戸町では、この重点目標に従い令和5年度杉戸第二小学校に続いて杉戸小学校、杉戸中学校に「ほっとルーム」「Aルーム」を設置した。教育委員会だより「杉の子」には、不登校児童生徒にとって「楽しく学び、自分を伸ばせる魅力ある学校」であるために①安心して学べる学校づくり ②学級での居場所づくり ③児童生徒との信頼関係づくり ④学ぶ意欲を育む授業づくりの4点を挙げ、教職員への周知徹底を図っている。

杉戸小学校、杉戸中学校に訪問した際、両ルームを見学し支援員に話を伺う機会があった。杉戸小では支援員2名が児童に対して学習だけでなく一人一人の話を聴き、会話をしていた。児童は自分を理解してくれる大人がいる安心感を得ることができていたようだった。杉戸中では、利用する生徒同士が机を並べて学習内容を共有したり、黙々と自分の課題に取り組んだりする生徒の姿が見られた。支援員の無理のない働きかけにより、和やかな人間関係も生まれているようであった。また、担任もAルームを訪れ生徒と話をしている場面にも遭遇した。

立ち上げて間もない取組であるため、関係機関も含めて支援員自身に対するきめ細かな支援も臨みたい。

体力向上については楽しい体育授業の実践についての話し合いを行い、「主体的に授業に参加することが体力向上につながる」ことの再確認をしたことは意義のあることだと考える。日々の体育の授業において「できた」という達成感や「練習すれば自分でもできる」という自信を感じることができる指導を継続すると共に、主体的・対話的で深い学びの授業を実現することで運動好きな児童生徒を増やし、結果として体力が向上するように支援していただきたい。

点検評価の結果

施策：③家庭・地域と一体となった教育の推進
「世代間交流の実施」

少子化、情報化が進む中、幼児の豊かな心を育むために、家庭や地域と連携協力して異年齢児や、高齢者をはじめとする幅広い世代と交流するなど、身近な資源を活用しながら豊かな生活体験を得られるよう機会を設けている。

令和6年度の主な取組

○家庭との連携

- ・PTA清掃活動：年5回の除草作業には年長児も参加し、お家の方に園庭がきれいになったことを感謝の言葉で伝えました。
- ・親子美化活動：年長親子を対象に遊歩道の清掃による奉仕活動を実施しました。
- ・町の施設等を活かした食育活動：「アグリパークゆめすぎと」における収穫体験農園の方の話を聞き、保護者ボランティアと共に収穫体験を通して、農作物へ関心を広げました。また、「いちご農園」からの招待でいちご狩りを体験しました。食育と共に町の産業について知ることが出来ました。
- ・誕生会への参加：年長の誕生児の保護者から、出生時の様子や名前の由来等を聞き、一人ひとりが大切な存在であり、命の尊さを学ぶことが出来ました。

○地域との交流

- ・保育園児との交流：地域の仲間を知り、互いの園を行き来し、相互交流を図りました。
- ・地域の方の畑で収穫体験：地域の方のご厚意により、季節の野菜を収穫や、切り干し大根づくりをしました。年度末に、お礼のプレゼントを作成して感謝の気持ちを伝えました。
- ・郵便局見学：杉戸郵便局に敬老の日に併せて、園児が自分の祖父母にハガキを作成し投函しに行きました。その際、ビデオ視聴をさせてもらい郵便局の仕事について学びました。
- ・祖父母及び地域の方との交流：伝承遊びを教わる機会を設け、触れ合いながら楽しいひとときを過ごしました。
- ・保護者及び地域ボランティアによる絵本の読み聞かせを通して様々な人と触れ合いました。

※少子化による園児数減少の対策として対外行事を計画して、道徳的価値観を養う教育や、命の尊さを学ぶ教育、更には、自ら考える力を養う教育等、心や人間力

を涵養するような教育・保育に努めました。

施策・事業の評価

③家庭・地域と一体となった教育の推進

「世代間交流の実施」

杉戸町のまちづくりの基本理念は「みんなで考え、行動することで、よりよい『すぎと』をつくる」である。幼児が、家庭だけでなく地域の幅広い世代と交流することは、幼児の豊かな心を養うだけにとどまらず、杉戸町にかかわる人自体の成長にもつながる。その観点からも、家庭と地域の教育力向上、世代間交流などこれからの時代に欠かすことのできない重要な取組が行われている。

少子高齢化や核家族化が進む中、地域において世代を超えたつながりや相互理解を深めることが重要である。世代間交流の効能・意義としては、高齢者と子どもの関係構築の場となるとともに、子どもは親からは得られない様々な知識や経験を得ることができる。今後も相互に生きる交流を目指してほしい。

点検評価の結果

施策：④小・中学校の施設・設備の充実

学校施設は、子ども達にとって一日の大半を過ごす学習・生活の場であると共に、生涯にわたる学習、文化活動、スポーツ活動の場でもあり、災害時には指定避難場所として地域の防災拠点となるなど、非常に重要な多くの役割を担っています。施設整備についてのニーズも近年多様であり、校舎の老朽化への対応や ICT 教育に対応できる設備の整備等が求められています。

そうしたことから、可能な限り既存施設を生かした施設整備を進めることで、安心安全な環境づくりに努めると共に、情報機器等の整備を図ることで、充実した学習環境づくりに努めます。

令和 6 年度の主な取組

- ・防犯カメラ設置工事（小学校 6 校）
- ・リソースルーム空調機設置工事（杉小）
- ・リソースルーム空調機更新工事（二小）
- ・リソースルーム空調機設置工事（杉中）
- ・杉戸第三小学校非常用放送設備交換工事
- ・杉戸中学校放送設備等改修工事
- ・杉戸中学校自動火災報知設備受信機交換工事
- ・乗用草刈り機購入費（小学校 6 校）
- ・広島中学校校舎等改修Ⅱ期工事
- ・統合に伴う備品等移転業務委託料
- ・杉戸南中学校スクールバス試験運行業務委託
- ・広島中学校特別教室棟壁面校名表示改修工事
- ・広島中学校旧用務員室解体工事
- ・杉戸南中学校学校名銘板改修工事
- ・木野川集会場駐輪場設置工事
- ・広島中学校裏門側スクールバスロータリー整備工事
- ・理科教育等教材備品の購入（小中計 1, 260, 270 円）

施策・事業の評価

④小・中学校の施設・設備の充実

東中学校が 65 年間、広島中学校は 43 年間の歴史の幕を閉じるようになった。

両中学校は3月14日に最後の卒業生を送り出し、「東中学校」は3月10日に、「広島中学校」は26日にそれぞれ閉校式が開催された。令和7年度に杉戸南中が開校する。これまでにご準備いただいた関係者の皆様に感謝を申し上げたい。

小学校6校に防犯カメラが設置された。学校は本来安全であるべき施設である。しかし、時代の変化に伴いさまざまな事件が起きる可能性がある。子供や教職員への被害を未然に防ぐための防犯カメラ設置は、ハード面から考えて大変ありがたい。今後は、(学校教育課所管ではあるが) 万一のことを想定した訓練等のソフト面での取組も踏まえ、両面から学校の安心・安全を強化していただきたい。

参考：施設・設備の活用状況

○教室等の有効活用状況

杉戸小学校	放課後児童クラブ 3 室
杉戸第三小学校	放課後子供教室 1 室（コロナ禍により中止）
西小学校	放課後児童クラブ 1 室
杉戸第二小学校	放課後児童クラブ 3 室、町史編纂・防災倉庫 1 室、 放課後子供教室 1 室
泉小学校	放課後児童クラブ 2 室
高野台小学校	放課後児童クラブ 2 室
杉戸中学校	—
東中学校	—
広島中学校	—

○施設の有効活用状況 (件)

学校名	屋外体育施設開放	屋内体育施設開放
杉戸小学校	160	483
杉戸第三小学校	221	418
西小学校	254	396
杉戸第二小学校	251	270
泉小学校	100	419
高野台小学校	203	435
杉戸中学校	0	882
東中学校	174	0
広島中学校	114	325

点検評価の結果

施策：⑤学校図書館の充実

児童・生徒の読書離れが懸念される中、学校図書館の充実を図り、図書とのふれあいや図書に興味を持たせる機会を増やし、学習意欲の向上や多くの知識習得につながるよう蔵書数の充実を図ります。

令和6年度の主な取組

- ・学校図書館の図書を3, 325冊整備しました。
- ・充足率が低くなっている学校には、学校図書館図書を充実させるため、特別配当予算を増額しました。
- ・学校図書館支援員を各校に配置し、延べ994回の活動により、図書館の整備や貸出業務、本や資料の紹介等を行いました。

施策・事業の評価

⑤学校図書館の充実

学校図書館は「読書センター」、「学習センター」、「情報センター」として3つの機能を発揮することで、児童・生徒が心身共に安心して過ごせる心の居場所とならなければならない。また、授業に関連した資料提供は、学校図書館による教員支援において重要な位置を占める。そのように考えた時、杉戸町の学校図書館は、十分な資料構成・資料規模と人の配置がなされている。

昨年度までにも記述させていただいたが、今後も学校図書館支援員の取組の共有、そして、杉戸南中学校に伴う東中学校の蔵書の活用方法等についても今後検討していただきたい。

参考: 施策指標の達成状況

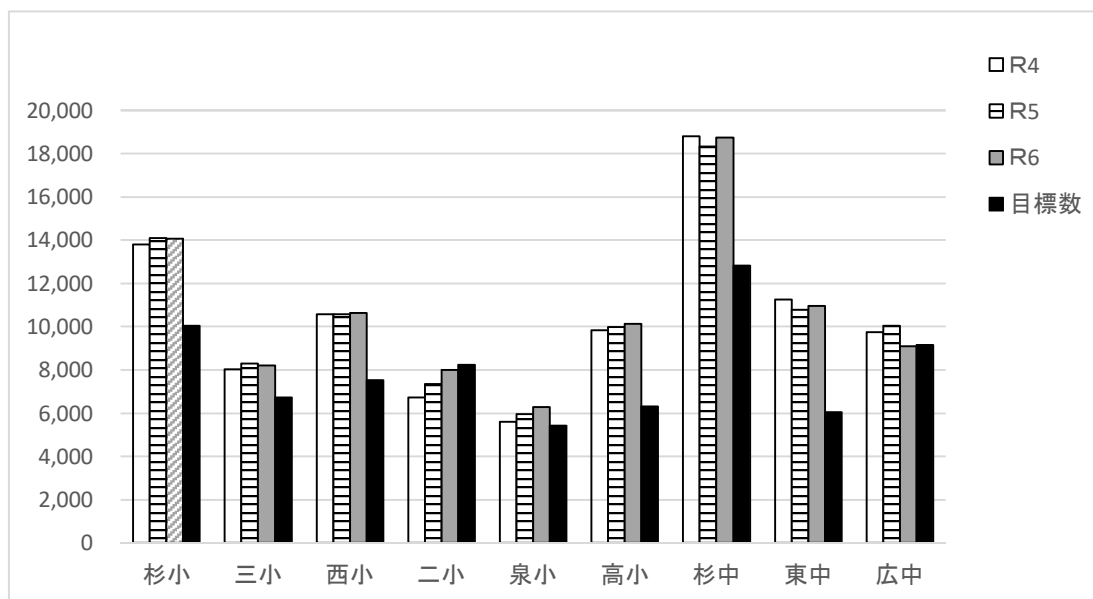
蔵書目標冊数	R6年度目標 冊数	R6年度末 蔵書数	目標数との 差	充足率
	72,288 冊	96,099 冊	23,811 冊	132.9 %

内 訳	図書標準 (R6年度)	目標蔵書数 (90%)	R6年度末 冊 数	充足率
杉戸小学校	11,160 冊	10,044 冊	14,063 冊	140.0 %
杉戸第三小学校	7,480	6,732	8,201	121.8
西小学校	8,360	7,524	10,637	141.4
杉戸第二小学校	9,160	8,244	8,009	97.1
泉小学校	6,040	5,436	6,279	115.5
高野台小学校	7,000	6,300	10,121	160.7
杉戸中学校	14,240	12,816	18,730	146.1
東中学校	6,720	6,048	10,973	181.4
広島中学校	10,160	9,144	9,086	99.4
計	80,320	72,288	96,099	132.9

※学校図書館図書の整備計画は、R4～R8年度までの5ヵ年を新たな整備期間として「学校図書館図書標準」の90%以上の図書整備の充実を目指します。

学校別整備状況の推移と目標数との比較（R4～R6年度）

	蔵書数			目標数
	R4	R5	R6	
杉戸小学校	13,801 冊	14,084 冊	14,063 冊	10,044 冊
杉戸第三小学校	8,035	8,284	8,201	6,732
西小学校	10,589	10,588	10,637	7,524
杉戸第二小学校	6,734	7,353	8,009	8,244
泉小学校	5,602	5,967	6,279	5,436
高野台小学校	9,829	9,977	10,121	6,300
杉戸中学校	18,807	18,332	18,730	12,816
東中学校	11,261	10,782	10,973	6,048
広島中学校	9,734	10,049	9,086	9,144
計	94,392	95,416	96,099	72,288



点検評価の結果

施策：⑥自ら学べる環境の充実

「生涯学習事業の推進（生涯学習センター・図書館）」

生涯学習センターは、多目的ホール、スタジオ、集会室、創作室、オープンギャラリー、パソコン指導室などを整備し、講演会、合唱・演奏会、演劇、陶芸、作品展示など様々な利用者ニーズに対応できるため、これらの機能を十分活かします。さらに図書館を併設していることから、点字図書などを含め計画的に図書館資料を整備し、情報を収集・提供するなど、様々な学習ニーズに対応できるように努めます。

また、他の生涯学習施設との連携を図り、住民が自ら学びたいテーマを選択し、生涯にわたり学習できるよう、学習分野の拡大や情報の提供に努めるとともに、障がいのある人も利用しやすいような学習機会の提供に努めます。

令和6年度の主な取組

生涯学習センター運営管理事業

- ・町民パソコン講座（23講座 172名）
- ・まちづくり出前講習会「まなびっちゃすぎと塾」（8件 214名）
- ・杉戸町県展入選等作品展 18点（県展17点、日展1点） 延べ112名

図書館運営管理事業

- ・サンサン・シネマ（年4回 253人）
- ・自然観察会&生け雑草（10名）
- ・おはなしボランティアによる「おはなし会」（年83回 575名）
- ・すぎと・泉保育園おはなし会（すぎと保育園12回、泉保育園7回）
- ・夏休み子どもおはなし会（19名）
- ・夕涼みおはなし会①②（39名）
- ・大人におくるおはなし会（27名）
- ・大人のためのおはなし会（47名）
- ・クリスマスおはなし会（21名）
- ・カルスタ劇場（142人）
- ・0、1、2歳の絵本探し（年12回）
- ・図書館お泊り会（町内在住5、6年生 12名）
- ・朝活図書館（延べ29名）
- ・修読旅行 for 図書館（町内外中高生6名）

- ・試験勉強がんばら Night（年3回 111名）
- ・ブックスタート（年12回 262名）
- ・スペシャル自習室（通年）
- ・新一年生図書館利用カード・図書バッグプレゼント事業（252名）
- ・ライブラリー・スタート（年12回）
- ・第19回図書館まつり（1, 114人）
- ・「はじめての読書会」（6人）
- ・大河ドラマ事前学習講座「『べらぼう～蔦重栄華乃夢話』の時代」（21人）

施策・事業の評価

⑥自ら学べる環境の充実

「生涯学習事業の推進（生涯学習センター・図書館）」

生涯学習センターは、誰もが自分らしく生きるために知恵と力を身につけるために学習や文化活動を通して、町民の生活文化の向上と豊かな生涯学習を実現する場である。

町民パソコン講座（R4年度132名⇒R5年度261名⇒R6年度172名）まちづくり出前講習会「まなびっちゃすぎと塾」（R4年度10件355名⇒R5年度14件389名⇒R6年度8件214名）と年度により増減はあるが一定の参加者がいることは十分生涯学習センターの機能を果たしている。

今も引き続き誰もが学べる環境をつくることや町民の課題解決を支援することと共に、町民の学びの視野を広げ、さらに学びのネットワークづくりを促進する仕組みを整えることが課題と言える。

図書館は、これまでもさまざまな事業を展開してきた。また、積極的な情報発信に努めることで「存在を高める」→「来てもらう・知ってもらう」→「ファンになってもらう」→「図書貸し出し数が増加する・図書館がさらに進歩する」と結果としての成功が次の成功を生み出す原因となる仕組みが整っている。

また、「試験勉強がんばら Night」をはじめとした学生応援企画については、学校にポスター掲示をするなど、積極的な情報発信・広報活動にも努力されている。実際に参加した中学生の声も肯定的なものが多かった。これからも、自宅で暮らしているような感覚で心地よく過ごせるような「暮らせる図書館」であることを期待する。

点検評価の結果

施策：⑦自ら学べる環境の充実
「生涯学習事業の推進（公民館）」

社会構造の変化から、当町においても少子高齢化が進んでおり、サークル等の活動も減少傾向にあります。こうした中、各地域の公民館は、その活動拠点として欠かせない施設となっています。

また、地域における文化・芸術活動は、地域住民のコミュニティ形成に深く結びつくものと考えられますので、希薄化する社会の解消と文化・芸術の香り高いまちづくりに向け、これら活動の活性化と発展を図るための支援に努めます。

令和6年度の主な取組

○公民館運営活動事業

- ・ 7/20 公民館観劇 参加者：48人
- ・ 7/20、27 ヘルストレーニング教室（保健センター合同事業）
参加者：7人
- ・ 10/25～10/27 第41回杉戸町立公民館文化祭 参加者：254人
- ・ 11/28 親子料理教室 参加者：3組9人
- ・ 11/30 杉戸町歴史散歩 参加者：7人
- ・ 3月 サークル見学月間 参加サークル：45団体 見学者：15人

各公民館サークル団体を紹介する冊子を作成し、サークル活動の活性化に努めました。また、「杉戸町社会教育関係団体」として施設使用料の減額措置を講ずることによってその活動を支援しました。

施策・事業の評価

⑦自ら学べる環境の充実

「生涯学習事業の推進（公民館）」

第41回杉戸町立公民館文化祭（令和6年10月26日）の開催に当たっては、公民館館長をはじめ、事務局、各公民館の代表、各サークルの方々のご協力があったことである。尽力された皆様に感謝申し上げる。

杉戸町だけに限らず、少子化・高齢化、経済的低迷等の社会的課題に起因する様々な地域的課題が存在している。これらの課題に対して行政・住民協働による個々の課題解決の取り組みを進める中で、学びが必要な部分や住民の意識・行動変容につ

いて、支援することが社会教育に求められる役割である。その学びの支援のため、連携することが効果的な地域の関係主体、機関等とネットワークを結ぶ役割も今後必要になってくる。

令和6年度、ヘルストレーニング教室を保健センター合同事業として実施したことは興味深い。公民館での高齢者支援（孤食、孤立化防止や健康づくり）も含め、所掌する課等を横断した連携も視野に入れていく必要があるのではないかな。

参考：施策指標の達成状況

※第6次杉戸町総合振興計画（前期基本計画）より

未来像3 生涯を通じて学び、郷土に愛着を持てるまち

（人）

施策名	計画目標A	現状B	B－A
社会教育施設利用者数	353,804	216,335	△137,469

※ 社会教育施設：生涯学習センター、図書館、公民館

（冊）

施策名	計画目標A	現状B	B－A
図書館資料の住民一人当たり貸出冊数	6.6	4.7	△ 1.9

※ 図書館資料の年間貸出冊数を人口で割ったもの。

点検評価の結果

施策：⑧多様なスポーツ活動の普及促進

町民のスポーツ活動は、より多様化する傾向にあります。生涯にわたって誰もがそれぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じ、「いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツに親しめる環境づくりが求められています。そこで、生涯スポーツの普及促進を図るために町民のスポーツに対する関心や健康づくりへの意識高揚につながるような取り組み展開に努めました。

また、町スポーツ協会をはじめとする各種スポーツ団体・クラブの育成・支援を行いました。それを通じ、地域でも活動・活躍できる指導者やボランティアの育成・確保を試行しながら、町民の自主的なスポーツ活動の促進を図りました。

令和6年度の主な取組

- ・気軽に気楽に参加できるスポーツイベントやスポーツ教室を企画し、地域住民及びスポーツ関係団体とが結びつく各種スポーツ事業の実施支援に努めました。
- ・新春マラソン大会、スポーツフェスティバルを開催し、子どもから大人まで幅広い年代の参加がありました。
- ・スポーツ推進委員の指導により、町民が気楽に楽しめる新たなスポーツの普及に努めました。

6/16 ファミリーバドミントン大会 参加者：27人

2/23 モルック大会 参加者：22人

3/30 レクリエーションスポーツフェア 参加者：166人

施策・事業の評価

⑧多様なスポーツ活動の普及促進

「いつでも・どこでも・いつまでも」すべての町民がスポーツに気楽に参加でき、多様なライフスタイルにあわせた活動機会の充実に取り組んでいただいている。

スポーツ教室等参加者数、体育利用施設件数は、集計の見直しにより令和5年度2,141人から令和6年度2,682人と対前年比25.3%の増である。体育施設利用件数も令和5年度10,351件から20,044とほぼ倍増している。

日頃運動する機会のない町民が、無理のない運動を無理のない時間で日常的に気軽にスポーツをはじめられる環境を提供できるよう充実に図ると共に、各種大会の周知にも努めてもらいたい。

今後は、スポーツに関心のない町民に対して楽しみながら活動する意欲を高める

ことができる取組や施策が必要。

さらに、より多くの人が集まる場所への掲示物やマスメディアの活用、またSNSを用いての啓発活動や情報発信も今後の課題となるのではないか。

参考：施策指標の達成状況

■スポーツ協会加盟団体数

《成果指標》	指標	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	スポーツ協会加盟団体数	13	12	12
	スポーツ協会登録団体数	105	89	87
	スポーツ協会登録人数	2,958	2,568	2,445

《数値目標》	施策名	計画目標A	現状B	計画B-A
	スポーツ協会加盟団体数	17	12	△ 5

■スポーツ少年団登録団体及び人員数・指導者数

《成果指標》	指標	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	スポーツ少年団登録団体数	14	13	12
	スポーツ少年団登録人数	262	253	258
	スポーツ少年団指導者数	88	79	46

《数値目標》	施策名	計画目標A	現状B	計画B-A
	スポーツ少年団指導者数	200	46	△ 154

■スポーツ教室等参加者数

《数値目標》	施策名	計画目標A	現状B	計画B-A
	スポーツ教室等参加者数	2,244	2,682	438

※総合振興計画の成果指標と同一。

■体育施設利用件数

《数値目標》	施策名	計画目標A	現状B	計画B-A
	体育施設利用件数	26,702	20,044	△ 6,658

※総合振興計画の成果指標と同一。

点検評価の結果

施策：⑨青少年の健全育成

各種青少年団体・グループ活動への支援を充実するとともに、活動への参加を促進します。

青少年健全育成連絡協議会で掲げる基本理念「子どもがのびのび育つまち、みんなだいじなすぎとの子」及び基本方針「家庭でしつけ、学校で教え、地域で育てる」を合言葉に、青少年が安全で安心して活動できる支援体制を整備し、各種の健全育成活動を推進します。

令和6年度の主な取組

- ・杉戸夏まつりの開催に伴い、青少年健全育成連絡協議会と連携し、街頭パトロールを行い、青少年の非行防止に努めました。
- ・「杉戸警察署管内 犯罪情勢」を演題に講演会を実施しました。

施策・事業の評価

⑨青少年の健全育成

令和6年11月15日に実施された杉戸警察署生活安全課山田徳行課長による講演会「杉戸警察署管内犯罪情勢」では、今、我々の住んでいる町で何が起きているのかについて町民等が理解を深めた。

このような取組は住民に安全意識を高め、防犯への意識を共有するのに効果的である。講演会を通じて最新の犯罪情勢や対策を学び、地域での防犯活動を活性化させることにもつながる。講演会で得られる効果としては、安全意識の高揚、情報共有と連携、防犯活動の促進、地域住民の協働、犯罪予防の啓発等がある。講演会で得られる具体的な効果としては、防犯パトロールの増加、防犯説にの設置、地域の防犯意識の向上、警察との連携強化等がある。

青少年健全育成連絡協議会で掲げる基本理念「子どもがのびのび育つまち、みんなだいじなすぎとの子」及び基本方針「家庭でしつけ、学校で教え、地域で育てる」の実現のためにも地域住民の安全意識を高め、防犯への意識を共有し、地域全体をより安全な場所に変える町づくりが望まれる。

点検評価の結果

施策：⑩まちの歴史・文化の保存と活用

杉戸町には、先人の残した古墳や貝塚などの貴重な史跡や遺跡が数多く存在します。しかし、押し寄せる都市化の波により、それらは失われました。今後、確かな歴史文化を後世に継承していくためには、これら文化財の適切な史跡の保存が大変重要となります。

今後も貴重な文化財の調査・研究を進めるとともに、保存・活用できる環境の整備に努めます。

令和6年度の主な取組

- ・国指定重要文化財1件、県指定重要文化財4件、町指定文化財25件の適切な管理を行いました。
- ・シラコバトの国指定保護地域及び県選定重要遺跡5件の保存に取り組みました。
- ・個人住宅の建築等の開発を原因とする埋蔵文化財の試掘・確認調査を宮前遺跡等で15件実施しました。
- ・杉戸町遺跡地図第3版を刊行しました。
- ・杉戸町文化財パンフレット（Sugito GRAPHICA vol.03）を刊行しました。
- ・幸手市と共催で企画展示会を開催しました。

施策・事業の評価

⑩まちの歴史・文化の保存と活用

杉戸町には、先人の残した古墳や貝塚などの貴重な史跡や遺跡が数多く存在している。それを長年にわたり適切に管理・保存していることは、評価できる。

今後も我が町の宝である文化財を適切な状態で保存するための、日常的な管理や修理を望む。

令和6年度は幸手市と共催による企画展示会が開催された。

幸手も杉戸も江戸川の右岸の下総台地で過去に古墳時代の遺跡が調査されている。杉戸町では20基以上の古墳からなる目沼古墳群がつくられ、数多くの埴輪等の副葬品が出土している。幸手市では、槇野地北遺跡を中心に土師器等多くの土器が出土し、大規模な集落が形成されていたことが判明している。

両市町の古墳時代は異なるところもあるが、おそらく深いつながりがあると考えられる。自治体の壁を取り払うことで我々の生活する地域の古墳時代の姿を知ることができる。

なぜ歴史を学ぶのかと問われたとしたら我々の未来を考えるために歴史が必要であると答える。過去の歴史を学ぶことは、平和で持続可能な社会に近づく一歩である。今後も過去、現在、未来という時間軸の中で、今生きている我々が「知恵」というバトンをどうつなぐか、伝統文化財を継承していくことの難しさを踏まえながら考える時に来ている。

指定文化財

数値目標	目標 A	現状 B	計画 AーB
	28 件	25 件	△ 3 件

《杉戸町指定文化財一覧表》

(令和7年3月31日現在)

指定別	種別	名称	所在地	指定年月日
国(重要文化財)	工芸品	太刀銘「備州長船秀光応安四年十月」		昭和28・3・31
県	史跡	日光御成街道一里塚	大字下高野329	大正15・2・19
県	史跡	大島有隣遺跡	大字大島40 (恭儉舎) 大字大島174 (有隣塚)	昭和6・3・27
県	考古資料	目沼9号墳出土品一括		昭和63・2・26
県	天然記念物	中川低地の河畔砂丘群 高野砂丘	大字下野山合895番1ほか	平成29・3・23
町ー 1	史跡	西行法師見返りの松碑	大字下高野376	昭和37・2・28
町ー 2	天然記念物	天満宮の榎	大字下高野424	昭和37・2・28
町ー 3	史跡	旧利根川堤防跡	大字下高野331-1他	昭和37・7・1
町ー 4	史跡	杉山対軒遭難の碑	大字椿1814	昭和56・3・19
町ー 5	考古資料	文永7年銘板石塔婆	大字堤根4254 (馬頭院境内)	平成3・6・1
町ー 6	史跡	大島有隣・関口保宣・藤城吉 右衛門各氏の墓	大字下高野396 (永福寺墓地内)	平成3・6・1
町ー 7	古文書	藤城家文書	さいたま市浦和区高砂4- 3-18 (埼玉県立文書館)	平成3・12・27
町ー 8	史跡	目沼浅間塚古墳	大字目沼398	平成3・12・27
町ー 9	無形民俗	大塚の神楽	大字大塚地内	平成4・10・27
町ー 1 0	無形民俗	茨島の神楽・囃子	大字茨島地内	平成4・10・27
町ー 1 1	彫刻	円空作白衣観音立像	さいたま市大宮区高鼻町 4-219(埼玉県立歴史と民 俗の博物館)	平成4・10・27
町ー 1 2	彫刻	円空作神像		平成4・10・27

指定別	種別	名称	所在地	指定年月日
町－１３	歴史資料	杉戸宿本陣宿札（関札）		平成4・10・27
町－１４	史跡	大塚の道しるべ	大字大塚343先	平成7・3・27
町－１５	古文書	小島家文書		平成9・3・17
町－１６	考古資料	目沼２号墳関連資料		平成18・10・13
町－１７	古文書	長瀬家文書		平成18・10・13
町－１８	絵画	出役図絵馬		平成19・5・2
町－１９	絵画	伊勢太々神楽図絵馬		平成19・5・2
町－２０	絵画	酒造図絵馬		平成19・5・2
町－２１	絵画	桶づくり図絵馬		平成19・5・2
町－２２	絵画	神馬奉献図絵馬		平成19・5・2
町－２３	古文書	正明寺聖教文書（一括）		平成24・2・15
町－２４	考古資料	目沼瓢箪塚古墳埴輪		平成25・8・20
町－２５	考古資料	杉内遺跡第２次調査出土板石塔婆（一式）		平成30・3・23

◇国（保護地域）及び県選定重要遺跡

指定別	種別	名称	所在地	指定年月日
国	地域を定めず指定したもの	シラコバト	越谷市とその周辺（調査により「生息地」となる）	平成元年度より
県選定重要遺跡	貝塚	木津内貝塚	大字木津内655他	昭和44・10・1
県選定重要遺跡	貝塚	神明貝塚	大字木野川91他	昭和44・10・1
県選定重要遺跡	前方後円墳	目沼浅間塚古墳	大字目沼398	昭和51・10・1
県選定重要遺跡	集落跡	山合遺跡	大字下野830	昭和51・10・1
県選定重要遺跡	古墳群	木野川古墳群	大字木野川262他	昭和51・10・1